

＜2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿＞

「儲かるからではなく、世の中の役に立つからやる。」
創業者である石橋信夫が常に社員に語っていたこの言葉は、大和ハウスグループが事業を興すうえでの原点です。当社は、常に社会課題と向き合い、社会に貢献する事業(商品・サービスの開発・提供)を通じて成長を果たしてきました。SDGsの達成はこの考えを具体化したものであり、これまでも、そしてこれからもこの考えに基づいてサステナブルな社会の実現に貢献していきます。

＜SDGsに関する重点的な取組み及び指標＞

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	当社グループでは、2050年のカーボンニュートラルを目指し、2030年までに2015年度比でバリューチェーン全体の温室効果ガス排出量40%削減する目標を掲げ、省エネ・再エネ・電化に取り組んでいる。	弊社グループでは、2023年度比の目標は設定していません。なお、脱炭素に関する目標としては、「2050年までにバリューチェーン全体のGHG排出量のネットゼロを達成(ネットゼロ認定)」が、日本の住宅・建設業界で初めて「SBTネットゼロ」認定を取得しました(2023年7月)。 また、「2030年度までに事業活動に伴うGHG排出量を2015年度比70%削減」及び、「2030年度までに販売した建物使用に伴うGHG排出量を2015年度比63%削減」目標はいずれもSBTiより1.5℃水準の認定を受けています。 (参考) 当社ニュースレター:日本の住宅・建設業界で初めて「SBTネットゼロ」認定を取得 https://www.daiwahouse.co.jp/about/release/house/20230724104430.html
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	当社では、育児との両立支援や女性活躍推進のため、管理職および主任職に就く女性社員を増やし、安定的に管理職を輩出する仕組みを構築する。	女性主任職比率 2023年度(2024/4/1) 23.4% →2026年度(2027/4/1) 25% 女性管理職比率 2023年度(2024/4/1) 5.8% →2026年度(2027/4/1) 8%

<パートナーシップ>

■阿蘇市と「移住及び定住並びに空き家に関する業務協定」を締結しました。今まで以上に阿蘇市と連携強化を図り、阿蘇の素晴らしさと魅力を全国に伝えてまいります。

https://www.daiwahouse.co.jp/shinrin/blog/blog_detail.asp?bukken_id=aso&blog_id=1282

■阿蘇市にて分譲する森林住宅地「ASONOHARA(あそのはら)」と周辺エリアにおける環境保全プロジェクト「ロイヤルシティ阿蘇一の宮リゾートASONOHARA草原育成プロジェクト」が、一般社団法人いきもの共生事業推進協議会(ABINC)が主催する「第3回ABINC賞」において「特別賞」を受賞しました。

■熊本地震において、災害公営住宅関係で弊社が関わりました市町村

・熊本市・宇城市・益城町・御船町・嘉島町

■地域共生活動(清掃活動への参加)、寄付金へのご協力等で、熊本南ロータリークラブ様と協働しています。

<http://kumamoto-southrc.org/club.html>

■熊本のバスケットボールチームである、熊本ヴォルターズ様とのパートナー協力により、熊本支店がある熊本市東区の全小中学校29校に、弊社のロゴ入りのバスケットボールを寄贈予定。(7月31日現在28校に寄贈済み)

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	大和ハウスグループでは、2050年までに温室効果ガス排出量ネットゼロへ挑戦。2030年までに2015年度比で50%削減(総量)を目指す。2023年度は、2021年度実績を19.5ポイント上回る削減ができた。	温室効果ガス排出量の削減(2015年度比) 2050年および2030年の目標の達成を目指して、2020年度実績(総量)の24%を上回る削減に取り組む。	環境行動計画の更新に伴い、申請書提出時から対象範囲やCO2排出係数等を変更しており、2020年度実績がありません。そのため、2021年度実績と比較した結果を報告します。 2021年度実績は16.1%削減(2015年度比) 2023年度実績は35.6%削減(2015年度比)
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	・大和ハウス工業では、育児との両立支援や女性活躍推進のため、管理職手前である主任職に就く女性社員を増やし、安定的に管理職を輩出するパイプラインを構築する。 2023年度は目標を上回り達成できた。	女性主任職比率 2023年度目標:18.6%	2024年4月1日実績: 23.4%

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。